

利便性向上と意識啓発

1. バス利用に不慣れな方への周知と利用支援

(1) 意見交換会や情報発信の実施（住民や企業にバスを知っていただきます）

意見交換会（地元説明会）の開催や広報「南えちぜん」への記事掲載、南越前町ケーブルテレビによる情報発信など、多様な機会・媒体を活用してバスの運行内容や利用者の感想ならびにバスの利用例（バスをどのような時に利用できるのか）などを紹介し、住民の公共交通に対する関心と理解を高めます。

また、運行内容の改善に対する意見交換会の開催を通じて、地域が公共交通の自主運行を自発的に検討する意識が高まるように、啓発活動を続けます。

事業	工程			役割分担		
	短期 (H25)	中期 (H26, H27)	長期 (H28 ~)	住民	商店 ・企業	行政
・意見交換会（地元説明会）の開催	→			参加	参加	開催
・広報「南えちぜん」への記事掲載	→			愛読		掲載
・南越前町ケーブルテレビによる情報発信	→			視聴		放映

：活動主体、 ：関連団体

(2) 無料運行日などの実施（バスを一度利用してみようと思う環境を整えます）

アンケート調査結果では、概ね8割以上の方は“バスを利用しない”と回答していることから、コミュニティバスの本格運行（ホノケ山トンネル開通後の運行内容の統一）にあわせて「お試し乗車券」を配布し、一度バスを利用していただくことによって、バス利用に対する不安などを解消するとともに生活に応じたバスの使い方を考えていただきます。

また、本格運行後、利用者が慢性的に少ない状況が続いた場合には、利用者促進策として「特定日の無料運行」の実施を検討します。

事業	工程			役割分担		
	短期 (H25)	中期 (H26, H27)	長期 (H28 ~)	住民	商店 ・企業	行政
・「お試し乗車券」の配布	→			試乗		配布
・「特定日の無料運行」の実施	→			試乗		実施

：活動主体、 ：関連団体

(3) 運行パンフレットなどの充実(分かりやすく運行情報を提供します)

従来からの地域別(バス別)に作成されている時刻表は、コミュニティバスの本格運行時に一冊にとりまとめるとともに、JR 北陸本線との乗り継ぎが容易に確認できるように列車の運行時刻を掲載するなど、利用しやすい時刻表に工夫します。

また、運行パンフレットには、時刻表のみならず、バスの利用例(バスをどのような時にどの時間帯のバスを利用すればよいのかを示したモデルケース)の掲載、バス運行経路周辺の観光名所などの紹介を行います。

さらに、希望者には、よく利用する区間・時間帯の時刻表のみを掲載した携帯用(葉書サイズ、名刺サイズ)の「マイ時刻表」を作成・提供します。

事業	工程			役割分担		
	短期 (H25)	中期 (H26, H27)	長期 (H28 ~)	住民	商店 ・企業	行政
・利用しやすい運行パンフレットの作成	■ ■ ■ ■ ■ (試作)	————— (本格運行時に統合)		利用		作成
・「マイ時刻表」の作成・提供	■ ■ ■ ■ ■ (試行)	————— (本格運行時から実施)		作成依頼		作成

：活動主体、 ：関連団体

2. 地域に親しまれるバス環境の創出

(1) 愛称などの募集(バスの知名度や愛着を高めます)

コミュニティバスの本格運行時の記念事業として、住民から「バスの愛称」を募集します。

さらに、バス車両を新たに購入・統一する場合には、住民の関心を高める記念事業の一環として、「バスの車体デザイン」を募集します。

事業	工程			役割分担		
	短期 (H25)	中期 (H26, H27)	長期 (H28 ~)	住民	商店 ・企業	行政
・「バスの愛称」の募集		————— (募集)		応募		募集
・「バスの車体デザイン」の募集		■ ■ ■ ■ ■ (車両購入を行なう場合)		応募		募集

：活動主体、 ：関連団体

(2) 車内掲示板の設置 (地域の生活関連情報を提供します)

車内の情報がキッカケで様々な活動の場へ出かけていただけるように、車内に地域情報掲示板(コミュニティボード)を設置して、公民館活動などの地域情報チラシを掲示・設置します。

また、商店などの広告を車内に掲示 (有料) して、地域活性化に寄与します (「 3 . 商店・事業所や各種団体との連携による利用促進」 に再掲載) 。

事業	工程			役割分担		
	短期 (H25)	中期 (H26, H27)	長期 (H28 ~)	住民	商店 ・企業	行政
・地域情報掲示板(コミュニティボード)の設置	 (実施)			掲示		募集
・商店などの有料広告の車内掲示	 (検討)	 (本格運行時から実施)			協賛	募集

: 活動主体、 : 関連団体

(3) イベントなどの実施 (楽しく利用できる環境を提供します)

町内の園児や児童・生徒の協力により、車内での児童絵画展をはじめ、季節に応じた車内の装飾を実施して、次代を担う若年層親子のバスへの関心を高めます。

また、保育所や学校の体験学習の一環としてバスを利用した参加型イベント(名所めぐり、スタンプラリーなど)を開催して、地域の歴史文化や自然にじかに触れることで愛郷心を育み、あわせてバスの利用方法や乗降時のマナー等を学習します。

さらに、公民館活動やサークル活動に取り組んでいる地域の各種グループ・団体に対して、バスを利用したイベント(遠足、レジャーなど)を自主的に企画・実施することを啓発・支援します。

事業	工程			役割分担		
	短期 (H25)	中期 (H26, H27)	長期 (H28 ~)	住民	商店 ・企業	行政
・車内での児童絵画展や装飾の実施	 (実施)			参加		依頼
・参加型イベントを開催	 (試行)	 (本格運行時から実施)		参加	協賛	企画
・地域の各種団体などに対する啓発・支援	 (啓発・支援)			企画・実施		啓発・支援

: 活動主体、 : 関連団体

3. 商店・事業所や各種団体との連携による利用促進

(1) 付加サービスの検討（バス利用者と商店がともに利得を享受できる環境づくりを支援します）

商業振興の視点から、各種商業団体とともに、バス利用者に対する各商店での独自サービス（割引など）の提供について検討します。

また、コミュニティバス運行の財源確保や町内事業所（商店、企業など）の活性化支援などを図る観点から、車内や時刻表への有料広告掲示を募集します。

さらに、新たなバスの停留所を設ける場合には、バス停の設置を依頼します。なお、駐車場など敷地に余裕がある場合には、バスの玄関付近までの乗り入れ、バス停の屋根の整備やベンチの設置などの協力を求めます。

事業	工程			役割分担		
	短期 (H25)	中期 (H26, H27)	長期 (H28 ~)	住民	商店 ・企業	行政
・各商店での独自サービスの提供	■ ■ ■ ■ ■ (検討)	————— (本格運行時から実施)			実施	依頼
・商店などの有料広告の車内掲示【再掲】	■ ■ ■ ■ ■ (検討)	————— (本格運行時から実施)			協賛	募集
・時刻表の広告掲示	■ ■ ■ ■ ■ (検討)	————— (本格運行時から実施)			協賛	募集
・バス停の設置	————— (実施)				設置	依頼

■ : 活動主体、 □ : 関連団体

(2) 1日フリー乗車切符の検討（地域間交流と地域活性化を支援します）

地域間連絡バスの運行内容（乗継の発生有無や料金体系）を踏まえて、住民による地域間移動を考慮した「1日フリー乗車切符」の発行を検討します。

また、将来的には観光客による利用促進を図るため、観光施設料金の割引サービスを付加した「観光1日フリー乗車切符」の発行を検討します。あわせて、観光モデルコースなどを掲載した観光パンフレットの発行を検討します。

事業	工程			役割分担		
	短期 (H25)	中期 (H26, H27)	長期 (H28 ~)	住民	商店 ・企業	行政
・「1日フリー乗車切符」の発行	■ ■ ■ ■ ■ (検討)	————— (本格運行時から実施)				発行
・「観光1日フリー乗車切符」の発行		■ ■ ■ ■ ■ (検討)	————— (将来実施)		協賛	発行

■ : 活動主体、 □ : 関連団体

4. 地域で公共交通を支える仕組みづくりの推進

(1) かしこいクルマの使い方を考える意識啓発（公共交通の利用意識を向上します）

公共交通の利便性を高める取り組みとともに、住民一人ひとりが過度に自動車に依存した行動を見つめなおし、無理のない範囲で自発的に変化することを促すモビリティ・マネジメント（かしこいクルマの使い方を考える交通政策）を推進します。

また、朝夕の通勤通学便が運行する場合には、町職員による率先的なバス利用を推進するとともに、県のカーセーブデー（毎週金曜日）のPRなどにより住民のバス利用を働きかけます。

モビリティ・マネジメントの例

マイカー通勤者を対象とした講演会の実施

女性団体等とのワークショップによる「おでかけマップ」の作成

小学生を対象としたバスを題材とした授業等の実施

事業	工程			役割分担		
	短期 (H25)	中期 (H26, H27)	長期 (H28 ~)	住民	商店 ・企業	行政
・モビリティ・マネジメントの推進	■■■■■ (検討)	————— (実施)		参加		実施
・町職員による率先的なバス利用の推進	————— (通勤通学便が運行する場合)					推進
・住民へのバス利用（通勤通学）を働きかけ	————— (通勤通学便が運行する場合)				実施	依頼

：活動主体、 ：関連団体

(2) 地元住民などへの支援（地域のバス運行に対する熱意を支援します）

自主的にバス停の清掃・美化などを実施するボランティア団体を育成することを検討します。

さらに、将来的に地域団体がバスを活用した地域活性化策の実施、ならびに地域による自主的な公共交通サービスの提供を検討する場合、地域団体に対する支援制度（講師派遣、費用補助など）を検討します。

事業	工程			役割分担		
	短期 (H25)	中期 (H26, H27)	長期 (H28 ~)	住民	商店 ・企業	行政
・ボランティア団体の育成	■■■■■ (検討)	————— (実施)		活動	活動	支援
・地域団体に対する支援	■■■■■ (検討)	————— (実施)		活動		支援

：活動主体、 ：関連団体

5 . 運賃補助制度の維持・充実

(1) 運転免許自主返納者に対する支援充実 (高齢者の安全確保と移動を支援します)

65 歳以上の運転免許自主返納者に対する支援内容は、免許返納者に代替移動手段を長期間にわたり確保する主旨から、コミュニティバスの運行内容の統一にあわせて、原則、コミュニティバスの無料定期乗車券の交付とする見直しを検討します。なお、制度が見直された際には、コミュニティバスが運行していない集落の居住者に限り、タクシー利用券を交付します。

事業	工程			役割分担		
	短期 (H25)	中期 (H26, H27)	長期 (H28 ~)	住民	商店 ・ 企業	行政
・ 運転免許自主返納者に対する支援	 (見直し)	 (本格運行時から実施)		免許返納		制度見直し

：活動主体、 ：関連団体

(2) 若い世代の移動手段の確保 (児童・生徒の移動を支援します)

鉄道駅が無い河野地域において、高校生の通学に対する支援 (福鉄バスの定期券差額補助) を継続します。

また、若い世代のコミュニティバスの利用促進を図るために、小中高生を対象として、夏季休業期間 (7月中旬から8月下旬) の夏季限定定期乗車券 (期間中乗り放題の格安券)を販売します。

事業	工程			役割分担		
	短期 (H25)	中期 (H26, H27)	長期 (H28 ~)	住民	商店 ・ 企業	行政
・ 高校生の通学に対する支援の継続 (河野地域)	 (継続)			利用		継続
・ 夏季限定定期乗車券の販売 (小中高生)	 (検討)	 (本格運行時から実施)		利用		実施

：活動主体、 ：関連団体

(3) 河野地域の運賃差額補助制度の維持 (都市部への移動を支援します)

鉄道駅が無い河野地域において、総合病院や大規模商業施設が立地している越前市へ、南条・今庄地域からと同等な費用で移動ができるように、運賃差額補助制度 (福鉄バスの割引) を維持します。

事業	工程			役割分担		
	短期 (H25)	中期 (H26, H27)	長期 (H28 ~)	住民	商店 ・企業	行政
・運賃差額補助制度の維持 (河野地域)				利用		継続

：活動主体、 ：関連団体